# 企画セッション

## ◆ コンテンツの世界展開 ◆

**【概　要】**

近年、マンガやアニメを中心に日本発のコンテンツが世界中で人気を集めている。一方、アメリカ発のエンターテインメント・ビジネスも世界中で収益を挙げている。2025 年 10 月 21 日に発足した高市内閣は、コンテンツを含む１７の戦略分野における官民連携での危機管理投資・成長投資の促進を決定し、同年 12 月 19 日、経済産業省はコンテンツ産業成長投資支援事業（IP360）を公表した。日本発コンテンツの海外市場規模を 2033 年までに 20 兆円へ拡大するという政府目標の実現を目的として創設、大規模・長期・戦略的な官民投資を進めるべく、令和７年度補正予算では 350 億円の予算を措置している。

また、2026 年 8 月に公表された「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 2026」では、海外売上高 20 兆円の実現に向けた「ものがたり大国 5 か年計画」を掲げ、日本発 IP の創出・育成から海外展開、収益化までを一体的に支援する政策が打ち出されている。

本セッションでは、日本から世界へ、また世界から日本へと展開する映像コンテンツに焦点を当て、アニメ制作、テーマパーク・エンターテインメント事業、動画配信プラットフォームの各分野を代表する実務家が、コンテンツ IP の創出・活用・展開の実際と課題について、製作から配給、二次利用に至るまで多角的に解説する。

以　上

# 企画セッション

## ◆　コンテンツの世界展開 ◆

**【講演者】**

司会：　村上裕之　MPA ジャパン　マネージング・ディレクター

講演⑴ 伊藤裕史（ひろふみ）　アニメプロデューサー　株式会社 HI Production 代表取締役
テーマ：アニメのマネジメントの醍醐味　日本から世界へ

日本を代表するアニメプロデューサーとして数々の作品に携わってきた経験をもとに、アニメ製作および制作の現場におけるマネジメントの実際と、作品を世界へ届けるためのプロデュース戦略を解説する。企画立案から製作委員会運営、人材・権利管理、海外展開まで、アニメ制作の醍醐味と課題を語り、日本発コンテンツの国際競争力強化に向けた展望を提示する。

講演⑵ 柴田純一郎　弁理士（日本）弁護士（米 CA 州・英 E&W）
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン　法務部バイスプレジデント／ヘッドロイヤー
テーマ：エンターテインメント・ビジネスの展開　ハリウッドのプラクティスとの比較

ディズニー、ソニーピクチャーズ、ユニバーサルの社内弁護士として培った経験をもとにエンターテインメント・ビジネスの展開における法務・契約・知財戦略の実務を解説する。映画・映像コンテンツを中心に、権利処理、ライセンス、二次利用等のビジネスモデルを整理し、日本とハリウッドのプラクティスを比較しながら、国際的なコンテンツ流通を支える知的財産マネジメントのあり方を展望する。

講演⑶ 竹廣　克（かつし）　ネットフリックス合同会社　公共政策ディレクター
テーマ：日本 IP の世界展開を加速するための動画配信サービスの役割（仮）

日本のコンテンツは世界でどのように受け入れられ、そして政府のコンテンツ輸出２０兆円目標の達成や日本の経済成長への貢献に向けた課題は何か。
190 以上の国や地域をカバーする動画配信サービスである Netflix の視点から、公表した経済貢献レポートを踏まえつつ、日本原作 IP の国際展開を支えるメカニズムと、持続的な価値創出のあり方について考察する。